

令和元年度 事前評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	日本万国博覧会記念公園 EXPO' 70 パビリオン別館 整備事業	
担当部署	府民文化部 日本万国博覧会記念公園事務所 施設整備課（連絡先 06-6877-3348）	
事業箇所	吹田市千里万博公園地内	
事業目的	<p>本事業は、「大阪都市魅力創造戦略 2020（平成 28 年 11 月）」の重点取組に基づき、「世界第一級の文化・観光拠点の形成・発信」として位置づけている“万博記念公園の魅力創出”を目的に行うものであり、これまで太陽の塔の内部再生事業など、計画的に公園の魅力創出に取り組んできている。今年には 1970 年大阪万博が開催されて 50 周年であり、5 年後には 2025 年大阪・関西万博の開催を控えていることから、現存する 1970 年大阪万博のレガシーに再び注目が集まることが見込まれる。このため、さらなる魅力創出を図り、賑わいの向上に資するよう、既存の展示施設である「EXPO' 70 パビリオン」に隣接して「EXPO' 70 パビリオン別館（仮称）」を建設し、太陽の塔の初代「黄金の顔」の立座をメインに、大阪万博のレガシー作品を展示するものである。</p>	
事業内容	<p>○パビリオン別館建築</p> <p>建物：重量鉄骨造 2 階建て（縦約 15m×横約 40m×高さ約 15m） 建築面積約 650 m² 延べ面積約 780 m²</p> <p>展示：初代「黄金の顔」（岡本太郎） 高さ・直径 10.6m 他</p> <p>屋外空間：連絡通路、人工芝約 300 m²</p>	
事業費	全体事業費：約 7.9 億円 （内訳）設計費 約 0.5 億円 工事費 約 7.4 億円	
	【事業費の積算根拠】 基本計画成果を基に概算事業費を算出	【工事費の内訳】 建築工事費 約 5.9 億円 展示工事費 約 1.5 億円
事業費の変動要因	なし	
維持管理費	約 82 万円／年（国土交通省「中長期的なコスト推計方法の例」より算出）	
関連事業	なし	

2 事業の必要性等に関する視点

上位計画等における位置付け	日本万国博覧会記念公園の活性化に向けた将来ビジョン（平成 27 年 11 月） 大阪都市魅力創造戦略 2020（平成 28 年 11 月）
優先度	2025 大阪・関西万博までに整備する必要性が高い

事業を巡る社会経済情勢等	近年、国の内外から大阪を訪れる観光客数は増加傾向にあり、2025 年には大阪・関西において国際博覧会が開催されることから、さらなる増加が見込まれている。この機会をとらえ、1970 年大阪万博のレガシーを活用した公園の魅力創出を図り、府民はもとより大阪を訪れる観光客を取り込んでいくことが重要となる。なお、既に一般公開している太陽の塔については、平成 30 年 3 月の内部公開後 1 年を経過した時点で、33 万人を超える来場者が入場している。
地元の協力体制等	—
事業の投資効果<費用便益分析>	本事業の投資効果を分析する手法は確立されていない。
事業効果の定性的分析（安心・安全、活力、快適性等の有効性）	<p>【効果項目】</p> <p><安心・安全></p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震性確保を前提とした、安全な建物構造の構築 災害時における災害対策の拠点施設として活用 <p><活力></p> <ul style="list-style-type: none"> 万博記念公園の魅力向上により来園者の増加を期待 2025 大阪・関西万博の開催に向けた気運醸成 <p><快適性></p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉のまちづくり条例、ユニバーサルデザインに配慮した施設づくりを行うことにより施設利用者は、安心して快適に利用できる <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 府民、観光客等の来園者

3 事業の進捗の見込みの視点

事業段階ごとの進捗予定と効果	令和 2 年度～令和 3 年度：基本設計・実施設計 令和 3 年度～令和 4 年度：工事、展示設計・製作・設置
完成予定年度	令和 4 年度

4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減の工夫等	パビリオン本館に隣接して整備することで、建物内施設の共有化を図ることができる。また、指定管理者が一体的に運営・管理を行うことにより運営管理コストの縮減が図られる。
-----------	---

5 特記事項

自然環境等への影響とその対策	本事業において新たに自然環境に影響を与えることはない。
その他特記事項	—

6 評価結果

評価結果	<p>○事業実施</p> <p><判断の理由></p> <p>本事業は、現存する 1970 年大阪万博の貴重なレガシーを活かした展示施設を整備することで公園の魅力創出を図る事業であり、国内外からの観光客を取り込むことで、一層の賑わい創出が期待できるとともに、2025 大阪・関西万博の気運醸成にも寄与することから、「事業実施」とする。</p>
------	---